

勇ましい お面の鬼と にらめっこ！

体験した人／佐々木智輝くん(7歳)、彩音ちゃん(4歳)、晴美さん



誰かに似てる...?



鬼とカッパ、それぞれ2種類ある型から好きなものを選んだら、刷毛(はけ)を使ってのりを和紙に塗ることから作業スタート。まんべんなくたっぷりのを使うのがコツです。



お面の命である目の部分の結付けは、一層緊張した面持ちで取り組んでいた智輝くん。金色の絵の具を使って、みちにも丁寧に絵筆を入れ



おにいちゃん、頑張ってる!



絵付けの作業は、お手本となる鬼剣舞のお面を見ながら行きます。「眉毛を黒い絵の具を使って太く描くと、カッコよくなるんじゃない?」と、晴美さんがアドバイス。



張り子が乾燥しきったら、目の部分にのぞき穴を作ります。研究員の伊藤さんのサポートで、位置を確かめながら慎重に目打ちと金槍を使って行いました。



施設前にある芝生広場を渡る砂利道には、一つひとつ表情が違つ小さな素焼きの鬼がいくつも置かれています。



ふむふむ...



鹿兒島県大隅町岩川八幡神社で行われている秋祭りで登場する巨大な鬼、弥五郎どん。「よく見ると、あんまり怖くないね」と、彩音ちゃんは大きな鼻にタッチしていました。

センサーが感知すると、美しい小面(こおもて)が瞬時に鬼女へと変貌する「変化鬼面」。そのあまりの恐ろしさに、彩音ちゃんはおかあさんに抱きついて離れられません。



彩色が終わったカッパと鬼のお面。形を作って乾燥、絵付けまでで約4時間、学芸員からお面の色や意味を教えしてもらいながら作業を行います。絵付け体験だけの参加も可能です。

出来上がったばかりの鬼の面と、にらめっこをしているのは佐々木智輝くん。完成品を眺めるこの凛々しい顔。決してお面の鬼に引けを取りません。岩手県滝沢村在住の佐々木さん親子が張り子のお面作りに挑戦したのは、岩手県北上市にある「鬼の館」。鬼の本来の姿を追求することを主な目的として、日本のみならず世界各地で祀られる、鬼の仮面を集めた、ユニークなテーマミュージアムです。

平気な顔でにらめっこをしている智輝くんですが、館内ではたくさんの鬼たちに驚かされっぱなしでした。ここに来るまで、節分の日にしか会ったことが無かったのだから、それも当然。ガイドをしてくれた上席主任学芸員の鈴木明美さんから、「鬼はね、悪いことをするものばかりじゃなくて、先祖の霊だったり、人に害を与えるような悪いものを追い払う強い力をもったものだったりするんだよ」と教えてもらい、ちょっとだけ見方が変わったようです。インドや東南アジアの、どこか憎めない表情の鬼にも出会い、すっかり親しみを感じていました。張り子のお面作りは、館内の特設コーナーでチャレンジ。智輝くんはもちろぬ鬼のお面を、おかあさんの晴美

さんと彩音ちゃんのペアはカッパのお面を作ることにしました。研究員の伊藤奈央子さんの指導で、石膏の型へ丁寧に和紙を張り付けて形を作ります。しっかりと表情を出すためには、隙間なく張り付けることが重要だそうです。3種類の和紙を張り終えた後、慎重に型からはずすと、みんな思わずにんまり。確かにそこには立派な鬼とカッパの顔がありました。

一層熱心に打ち込んだのは色付け作業。鬼剣舞で使われる4色の鬼の中から、智輝くんは活気みなぎる赤を選びました。そして、おかあさんと彩音ちゃんのカッパは青をメインに、見る人の笑顔を誘うひょうきんなペインティング。下地を塗って目や口に色を入れていくうちに、表情が生き生きとしてくるのがわかります。そこには怖い鬼や妖怪の顔ではなく、親しみあふれる表情が。館内を案内してくれた鈴木さんも「鬼は見る人の心を映す鏡のようなもの。邪な心の人には怖く、善い心の者には頼もしく見えるはずだよ」と言っていました。たくさん鬼と出会い、そのすべてに郷土の願いや祈りが込められていることを知った智輝くん。お面の鬼にやさしさがにじみ出ているのは、そのせいかもしれません。

◎読者家族レポーター募集! このコーナーに参加して下さる家族を募集します。詳しくは33ページをご覧ください。
◎読者に紹介したい「親子体験施設や体験イベント」について教えてください。巻末の「Yuiシート」(感想・意見記入欄)をご利用ください。

お面作り最大の難関が、型から外す作業。竹串を使ってみちから紙の間へ空気を入れなが



型から取り外したばかりの張り子の表情に、彩音ちゃんも満足そうです。凹凸をはっきり際立たせるためには、和紙の層に空気が入らないようにするのが肝心。

北上市立「鬼の館」
岩手県北上市和賀町岩崎16地割131番地
TEL.0197-73-8488
開館時間 9:00~17:00
休館日 12月~翌年3月までの月曜(祝日の場合は開館)、祝日の翌日(土・日・月曜の場合は開館)、上記開館の振替日、12/28~1/4館内整理日(11/27~30)

入館料 一般350円、高校生240円、小・中学生170円

※張り子のお面作り体験は開館日であれば随時開催、1回20人まで受付。参加料金は中学生以下無料、高校生以上300円、絵付けのみは620円となります。開始時間などについては、受付カウンターでお問い合わせください。

※所要時間約4時間、絵付け体験のみは約2時間。



アクセス
●車/東北自動車道北上江釣子ICから約15分
●電車/東北本線北上駅より車で20分、バスで25分「岩崎橋」下車徒歩約10分